



感情のウロボロス

R18
ADULTS ONLY

私の名前はマックス・シユルツ。
ドイツで造られた駆逐艦の艦娘。
理由はわからないけど
今まで何をしていたか覚えてない……

気がついたらここにいたの。
ここは……とこなの……？
ドイツでは無いみたいだけど。
潮の香り……油の臭い……

たったひとつわかることは
今は2017年。深海棲艦なる
未知の存在と戦って
平和を勝ち取ることが私の役目

レーベはどこにいるのかしら。
他のドイツの仲間達は……？
早く皆と会いたい……

とりあえず目の前の
この建物……風格からして鎮守府？
入ってみないことにはわからないわ。



君の姉？の
いるしね！
いるしね！

あ…申し遅
私駆逐艦の

あ！良いの良いの！
大体知ってるから！



え？ネット…？
何のことでしょうか？

やあー！
君がマックスちゃんだね！
ネットで見た画像と
まるで同じだ！
かわいい！俺好み！



君もすぐここに
慣れるよ！

レ…レーベリ？
私はここで上手く
やっけていけるのでしょうか。

いや……
レーベは何故
あのような姿に……

そもそも私は戦う為に
来たのですが……
その……ここでは何を……
されているのでしょうか……

まさかとは
思いますが……

そう！セックス！

ぞわ

ぞわ

私は戦う為に
生まれてきた艦娘。

容姿はおまけなはず。
ましてやそんな、
肉体を求められるなんて。

あ……あの。
私艦娘ですよ？
出撃とかは。

昔は出撃とか
してただけだね。

そんなことより、
気持ちいいこと
とかしてた方が
良いでしょ！

でもどうせ
深海棲艦とか
攻めてこないと
はまずじゃないか



ほえっ!?

あっ!!! マックス!!!
いつの間にか
来てたんだい!?



じゃあ折角だし、
レーベくんとしてみない?

あっ……



この提督は
凄くいい人なんだよ。
僕やみんなに凄く色々な
事を教えてくれるんだ。

スッ

こっちに
おいでよ



おお! レーベ起きたか!
お前さっきつかから
ずっと気絶してたからな

さあ、この前
教えたとおり
マックスを気持ちよく
してあげなさい。



マックスにも
僕が教えてあげるよ。

きつとマックスも
気に入ると思うよ

れ……レーベ……
一体何をやる気だい?

ない気分
に魔法

マックスも
ここを触れば
気持ちよくなる
はずなんだ。

お、レーベ!
よく出来てるじゃないか。
後でご褒美をあげよう。

レーベ、私に
何をしたの?

なんだか
不思議な
気持ち……

僕も最初の方は
ちよっと不思議な
気分だったんだ。
でも直に慣れるよ。

んんん

んんん

あとで提督が
楽なように中まで
ほぐしてあげないとね……

フツ

あ……レーベ……!
そんな奥まで
入れたら汚いよ……

あっ♡
あっ♡

はむっ……マックスの
耳舐めちゃう……

あう……
急に舐めちゃ
だめ……

あっあっ……

あっ

はっ
A°Oオ



ほら、マックスもうぐしよぐしよじゃないか

あ：マックス。気持ちよくなってくれたんだね...

良かった... 僕もマックスとまたあえて嬉しいんだ



ああっ...

どうして来て早々こんなことに...



レイベちゃん、妹相手に凄かったね...!

じゃあ後で沢山喜ばせてあげるからね先に部屋に帰っててね

あちゃー！マックスちゃんイッちゃったかー！

...やった！提督ありがとう。

嬉しいな...

やっぱり処女の娘は
やっぴりがいが
あって楽しいな。

さて、僕も楽しませて
もらおうとしようかなっ

え…提督

マックスも
身体は正直
だしな。

さてと。
じゃあマックス、
お口広げておいてね。

んむっ…

え、それを
私の口にいれ

マックス!
しっかり啜えて
歯立てるなやよ!

やべえ!
ロリのロマンコは
やっぴり絶品だわ!

ん…♡

んむっ♡

んむっ♡

んむっ♡

んむっ♡

んむっ♡



その中でも私は
特に気に入ら
れたように

提督は言った通り
私含め様々な艦娘達に
欲の限りを尽くした。

しかし、提督の「命令」には
絶対なのである。
いや、反抗しようとしても
出来ないのだ。

四六時中場所構わず
好きなように
身体を使われた。

気持ち悪い……
憎い……
私は戦いたかった。

そんな悪夢のような
日々はある日終わりを
告げた。



どういうことだ……！
出撃や遠征を
全くしなくても攻め入られる
事なんて無いはずなんだ……！

あな
あな
あな

クソ……資材も無い、
訓練も何もしてなかった。
肝心の手駒の練度も低い！

そもそも深海棲艦……！
あいつらが攻めてくる事
なんて無かったぞ……！

あな
あな
あな

あな
あな
あな

うるさい！

提督、一旦ここは
退却を……

こんな事に
なるなんて
本当はありえない
はずなんだ

この人は本当に
提督なのか？

敵を放っておけば
いずれこっちにくる。

練度が無ければ
戦いに勝てない。
資材がなければ
戦いは出来ない。

おそらくここは
今日までの
命だろう。

私に出来る
最後のあがき……

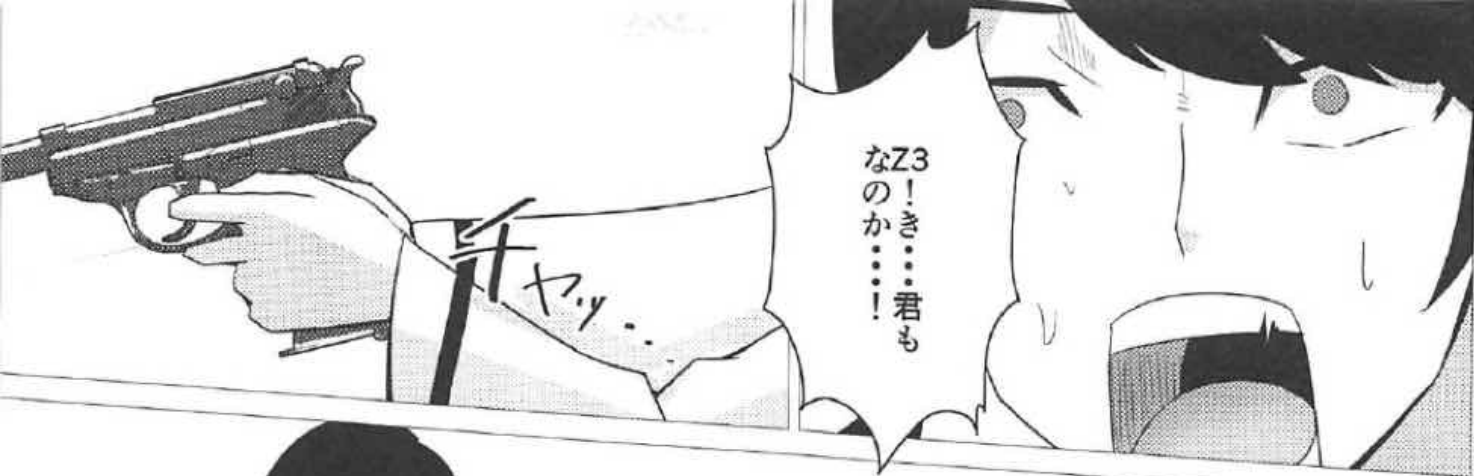


どなりこえ

どなりこえ

どなりこえ

どなりこえ



私が艦娘である限り
「提督」への命令には
逆らえない

でも……
こうしなければ
皆やられてしまっていた

そう……
これで良かった

破損したデータ
破損したデータ
破損したデータ
破損したデータ
破損したデータ
破損したデータ

皆と一緒に
これで逃げ……

エッ

提督……？
今殺したはず。

提督！

なんて
ことだ！

でも……レーベ？
何で、私を……？

し……視界が……
意識が……

ウスレテユク……

敵を！

ごめん……マックスだよな。
僕も艦娘である限り、
提督の命令は絶対なんだ。

でも……マックス……
なんで？何で君まで
そんな姿に……





アラワタシタチモ
ソウヨネ。

ナカマニ
ヤラレチャッタ
ンデス
ッテ

ドウヤラトテモ
ニクイヒトガ
イルソウヨ



ソウミタイ

コイツガ
シンイリカ……？



デス。

新しい地、新しい仲間。
でも私は
ウマクヤッテイケソウデス。

トテモニクイ
ヒトガイマス。



あとがき

こんにちは、hamaluです。
今回の本はいかがでしたでしょうか...？
いつもの成人向け本と違ったテイスト
になったので個人的に新鮮な気分で
描くことができました。
その反面、ゲームの出現条件に合わせなくては
いけなくなったりして
ストーリー書くのが割と大変になりました...
提督と艦娘がなんなのか妄想してみたりすると
夢が広がりますね。
エロ本なのかよくわからない中二病の極み
みたいな本になりましたが、
感想とか凄いい気になるのでよろしければ
送ってくださいとありがたいです。
それではまたどこかでお会いしましょう。

hamalu (@hama1u)



Kantai Collection Fanbook
by hamalu (minato future)